

# 女性議員増で政策推進

## 政治参画考えるフォーラム

青 森

男女共同参画社会づくりを目指す団体「ネットワークA・L」（小山内

世喜子代表）は26日、青森市のアウガで女性の政治参画について考えるフォーラム「どうかわる？ 政治分野の男女比50対50になったら」を開いた。45人が女性による政治参画の障壁や必要性などについて考えた。

（兼平昌寛）



女性の政治参画について話し合った参加者たち

## 障壁は何？45人考える

女性政治リーダー養成講座などを開いているパリテ・アカデミー（東京）の西川有理子事務局長が女性の政治参画に関する世界や国内、県内の現状を紹介。「女性議員が増えることで、子育て支援など女性の経験や関心事が政策に反映される」と強調した。

ワークショップでは、女性が政治に参画しにくい理由について「女性は控えめにという昔ながらの意識」「家事・育児を担わされる」「リーダーシップを発揮する場面が少ない」「身内の理解が得にくい」などの意見が出た。女性の政治参画が進む方法には「女性が自信をつけて、まずやってみることが重要」「孤独に耐える覚悟が必要」などの声が上がった。

政治に興味があつて参加したという同市の館山雪子さん(75)は「ワークショップを通じ、女性の政治参画が進まない理由がさまざまあると分かった。大変勉強

になったし、政治に女性が必要だとあらためて感じた」と話した。世界経済フォーラムが公表している男女格差（ジェンダーギャップ）指数で2019年、日本は153カ国のうち121位。政治分野では144位となっている。